



健康づくり通信

長崎県は健康長寿日本一を目指しています！

第201号 令和3年9月
長崎県県北保健所
長崎県平戸市田平町里免1126-1
TEL:0950-57-3933 FAX:0950-57-3666
ホームページ
<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kenkodukuri/kenkozukuri-kenhoku/>
※イラストは転載禁止

～今月のテーマ～

『もしかして、結核カモ!?』 ～結核検診を受けましょう～

9月24日から30日は結核予防週間です。
結核は依然として日本の重大な感染症であり、世界の中でも「中まん延国」とされています。
さらに長崎県は、令和元年のり患率が全国ワースト11位であり、発生割合が高い状況です。

結核とは？

結核菌によって、主に肺に炎症を起こす病気です。

結核が進行した患者の咳などのしぶきに含まれる結核菌が空気中に飛び散り、それを他の人が吸い込むことにより「感染」します。「感染」しても、全ての人が「発病」するとは限らず、約8割は免疫機能が働いて結核菌の増殖が抑えられます。栄養状態が悪かったり、加齢とともに体力が衰えてくると免疫力が負けて「発病」します。

初期の症状は『かぜ』に似ています～このような症状はありませんか？～

- 咳やたんが2週間以上続く
- 微熱が続く
- 体がだるくなる
- 胸に痛みがある
- 体重が減る

「かぜかな？」で済ませず
早めに呼吸器内科等の医療機関
を受診しましょう！

高齢者は、せきなどの典型的な症状がないことも多く、注意が必要です。

結核は過去の病気ではありません

近年は患者数は減少していますが、令和元年は全国で約1万5千人、長崎県では約170人、県北保健所管内では6人の新しい結核患者が発生しています。

長崎県及び全国の状況(令和元年)

	新登録患者数(人)	り患率
長崎県	174	13.1
全国	14,460	11.5

長崎県は
全国ワースト
11位！

* 新登録患者数：新たに結核患者として診断され、保健所へ登録された者の数

* り患率：新登録患者数を人口10万対率で表したもの

年齢別で見ると・・・

半数以上が70歳以上の高齢者です。

年齢が高くなると免疫力が低下し、結核を発病する人が多くなります。
糖尿病の方や人工透析を受けている方、ステロイドや抗がん剤による治療を受けている方なども免疫力が低くなるため、注意が必要です。

結核は確実な服薬で治る病気です

治療を始めれば1～2か月で周りの人に感染させることはなくなり、6か月～9か月の治療期間、医師の指示どおり毎日きちんと薬を飲めば治ります。

結核を予防するために、次のことを心掛けましょう

- ◆ 1年に1回、定期的に胸部エックス線検査を受けましょう
- ◆ 十分に睡眠をとり、過労に注意しましょう
- ◆ バランスのよい食事と適度な運動を心がけましょう
- ◆ 喫煙は、肺にダメージを与え、結核の発病率が高くなる、結核の治りが悪くなる、免疫力を低下させるなどの影響を与えますので、禁煙に取り組みましょう
- ◆ 乳幼児の結核予防には、BCG(標準的接種期間は5か月から8か月まで)が有効です



結核を早期に発見できれば、重症化が防げるだけでなく、大切な家族等への感染の拡大を防ぐことができます

気になることがあれば、保健所に御相談ください

保健所では、結核についての普及啓発（高齢者施設等への講話など）、患者さんの治療が終了するまでの服薬支援、患者さんの接触者の相談や健康診断の実施など、結核予防、まん延防止のための取り組みを行っています。

お問合せ先

県北保健所 地域保健課 健康対策班 電話：0950-57-3933